

事務事業名		加茂健康福祉センター管理事業		所属部	加茂総合センター	所属課	市民福祉課
総合計画体系	政策名	(Ⅲ) 支えあい健やかに暮らせるまち《保健・医療・福祉》		所属G	市民福祉G	課長名	加納 忠夫
	施策名	(25) 地域福祉の充実		担当者名	田部 里恵	電話番号	0854-49-8612
	目的: 対象	市民	意図	地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実践する。		(内線)	4122
	基本事業名	(075) 支え合う地域づくり		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	社会福祉施設管理事業	
目的: 対象	市民	意図	地域で支え合う体制をつくる。		項目 中事業 中事業名	加茂健康福祉センター管理事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16 年度～)
<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
加茂健康福祉センターの管理運営を行い、利用者の福祉の向上を図る。(平成12年3月～平成16年3月は加茂町社会福祉協議会が管理委託、平成16年4月からは社会福祉法人かも福祉会に指定管理。)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	29年度実績(29年度に行った主な活動)	30年度計画(30年度に計画する主な活動)			
		①指定管理者と年度協定締結 ②指定管理料の支払い ③施設管理に関する協議	①指定管理者と年度協定締結 ②指定管理料の支払い ③施設管理に関する協議 ④指定管理更新事務			
	② 活動指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	ア 監督指導等協議回数	回	15	15	16	5
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
	①施設利用者(貸館、健診等) ②加茂健康福祉センター	ア 施設利用者数	人	29,882	31,549	31,124	32,000
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)	
①安心安全に利用できる。 ②適正に維持管理する。	ア 修繕件数	件	11	5	1	3	
	イ 施設利用による事故発生件数	件	1	0	0	0	
	ウ 貸館平均稼働率(参考指標)	%	66.7	60.9	52.2	61.0	

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (29年度決算)	② コストの推移	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(計画)
指定管理料: 39,244千円 修繕費: 119千円 保険料: 36千円 合計: 39,399 千円	財源内訳	国庫支出金	千円			
		県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円	6,946	5,312	5,312
		一般財源	千円	39,751	34,291	34,087
		事業費計 (A)	千円	46,697	39,603	39,399
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1
		延べ業務時間	時間	60	60	60
		人件費計 (B)	千円	235	238	245
		トータルコスト(A)+(B)	千円	46,932	39,841	39,644

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
利用対象者に変更はない。 施設の管理は、平成12年3月から管理委託(平成16年からは、指定管理)しており、適切に管理されている。	平成12年3月～平成16年3月までは、管理委託方式。 平成16年4月から指定管理をおこなっている。	指定管理者から、トレーニングルームの備品(ルームランナーなど)の更新や照明修繕を要望されている。あわせて、築17年経過し施設設備の更新を要望されている。

事務事業名	加茂健康福祉センター管理事業	所属部	加茂総合センター	所属課	市民福祉課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？		
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒	
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設を適正に管理しており、安心安全に利用されている。
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない		
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有		
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒ (具体的な手段や類似事業名)	地域福祉及び健康増進の拠点施設である。	
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	指定管理施設であり、協定の3年間は指定管理料を変更できない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	指定管理施設として外部委託を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	誰でも利用できる施設であり、公平公正である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由) 適切に管理しており、安心安全に利用された。
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
		B 有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
						コスト																		
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
施設の管理方法としての指定管理は引き続き行う。		<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																						